



函館市民憲章の概要

函館市民憲章は、市民一人ひとりが「よりよい明日の函館」をつくるための行動の規範を示すとともに、市民とまちの理想像を表現したものです。

その構成は、前文と5項目の本文から成っており、前文では、市民とまちの理想像をかかげ、本文では、市民一人ひとりがそれを実現していくための行動の指針をかかげています。

また、本文は「真心」「健康」「文化」「自然」「郷土」の5項目を柱として、前半では理想的市民像をうたい、後半では、まちの理想像を実現していくための、市民の行動目標をうたっております。

その表現については、唱和しやすいようにしてあり、各項目の配列などに軽重は有りません。

また「～函館市民、～まち」と、なかば言い切りの表現および体言止めとしているのは、その余韻の中に願望や実行への強い決意を表したものです。

真心あふれる函館市民、あたたかいまち

函館を語る人は、だれもが、「函館は人情深いまち」といいます。隣人はもとより、函館を訪れる内外のお客さまにも、真心をもって接するのが函館の市民です。

わたしたちは、このような心をお年寄りや不幸な人たちにも広め、互いに助け合うあたたかいまちをつくりたい。

たとえば…

- 「小さな親切運動」に進んで参加しましょう。
- 進んで献血に協力しましょう。
- 敬老運動などに参加しましょう。



健康で働く函館市民、にぎわうまち

健康はわたしたちの願いであり、かけがえない宝です。市民スポーツを盛んにして体を鍛え、仕事に励んで充実した生活を送るのが函館の市民です。

わたしたちは、このような生活が函館の繁栄のもとになることを考え、明るく健康な家庭を築くとともに、特色ある産業をのびし、にぎわうまちをつくりたい。

たとえば…

- 体力づくりのために運動しましょう。
- 郷土産業の振興を図りましょう。
- 明るい職場づくりをこころがけましょう。



文化を誇る函館市民、はぐくむまち

函館は、わが国最初の貿易港として開かれ、先人の努力で、いち早く海外の文化をとり入れたまちです。異国情緒豊かな郷土の文化遺産をたいせつにするのが函館の市民です。

わたしたちは、このような先人の精神に学ぶとともに、教養を深め、若い力をのばして、新しい文化をはぐくむまちをつくりたい。

たとえば…

- 文化活動を盛んにしましょう。
- 青少年の健全育成につとめましょう。
- 文化財の保護に努めましょう。

